

校長便り 怒濤 高

県立糸満高校

平成28年11月15日(火)

校長 辻上弘子

第 13 号

島尻地区高P連交流レク大会 ご協力をありがとうございました

「島尻はひとつ」合言葉を実感した交流会となりました。11月5日(土)60余名の参加者で盛況のボウリング大会、その後の情報交換会まで各校教頭先生方も参加され、有益な時間となりました。やはり話題は子どもの事。参加してよかったとの声が多数。皆さまの日頃からのご協力に感謝申し上げます。

なんともはや、大したもんだ ~昨日サンタルチア独唱やスイングジャズの名曲も~

無条件でとびきりの笑顔になれる、本日はそんな合唱クラスを囲んだ集まりでした。円形ステージを前に、準備された椅子やブルーシートに陣取った生徒たち、2・3階のベランダから鑑賞の生徒たち、待っていましたとばかり予定時間より早めに場所取りする職員集団、合唱が始まると自然発生的に歌に合わせて手拍子が沸き起こり、「こんな学校っていいよね」と感じている彼らの心が伝わって参りました。14日(月)~17日(木)生徒会主催の「糸高ミニ文化祭り」昼休み15分以内、しかも文化的で、すぐできる手軽なものという内容で実施されました。出演者はなるべく弁当持参、この時間帯だけ駐車ご遠慮下さい、との文字が躍ったお知らせ用紙も出ました。おかげで格調高い芸術的な雰囲気にも包まれますが、生徒会担当職員は、それはもう大変です。生徒が主体的に活動できるようにと、目立たぬところで手綱を引かないといけませんから。楽しむばかりのわたくしたちとは違い、校内放送を手配したり(もちろん生徒が放送するのですが)次は5校時、時間厳守だと時計とにらめっこで演奏を楽しむ余裕もありません。でもそんな苦勞をちゃんとわかっているのが、糸高生の大人な所でございます。「先生、お疲れ様です。ありがとうございました。」ですからバキューンやられます。生徒や職員に恵まれ、この喜びを保護者の皆様へお裾分けできないかと思うこの頃です。